

18 フィリピン

南ルソン高速道路建設事業(Ⅰ)



本事業により建設された高速道路

[借款概要]

承諾額/実行額	4,238百万円 / 3,669百万円
借款契約調印	1990年2月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年(据置10年)
貸付完了	2000年5月

[事業概要]

既存の南ルソン高速道路(マニラ首都圏～カランバ)をバタンガス市まで延伸することにより、同市の港湾開発を中心とした工業開発計画に寄与するとともに、マニラ首都圏とその近郊地域間の人的・物的交流を拡大するもの。

[評価結果]

本事業により、バタンガス州サント・トマスから同州リパにかけて総延長22.16kmの高速道路が建設され、2001年8月に開通した。その結果、通行所要時間が15分と、一般国道の利用と比べて1/3～1/4に短縮された。一方で交通量に関しては計画値の5%強に留まり、効果発現がかなり限定的となっている。これはカランバからバタンガスまで高速道路が全線開通しておらず、本事業区間についても一般道利用が好まれることが主な原因である。

マニラ首都圏～バタンガス間の高速道路の残り区間については、現在BOT方式による建設が計画されている。本事業のように、事業対象外の区間が効果発現の成否を左右する場合は、その実現可能性を踏まえて事業内容の検討を行うことが必要である。